

感想画:

ア 用紙

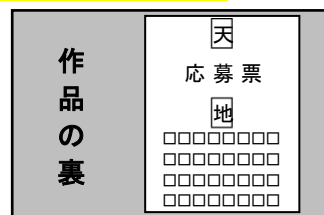
- ①画用紙・ケント紙・マニラボール紙・キャンバスボード（枠張り不可）、ゴッホ紙など。
- ②用紙の大きさは四つ切り(54cm×38cm。1cm程度の誤差は可)を使用。これ以下の大きさの場合、必ずこの大きさの白画用紙に貼り、台紙とすること。

イ 応募票※

- ①応募票を作品の裏面右肩に（絵の上下と応募票の天と地を一致させて）貼る。
- ②応募票の原稿用紙に「本のどんな点に感動したか、作画の動機、作画に当たっての工夫・苦心したこと」を本人が書き、裏面に貼る。
※貼付のないものは規定外となるため、本選には上がらない

ウ 審査

- ①各校での審査において、本の挿絵（日本国内で出版された図書のみ対象）の模倣でないことを確認する。
- ②コンピューターグラフィックス(CG)の作品は不可。写真集・図鑑・辞典・事典を見ての作品も不可。
- ③作品は在籍校を通じて支部審査に提出し、これを経て県審査に提出する。
- ④審査の視点はHPに掲載



著作権侵害にあたる行為
(他の作品の剽窃等)がないように、
十分ご指導ください。

感想文:

ア 原稿用紙

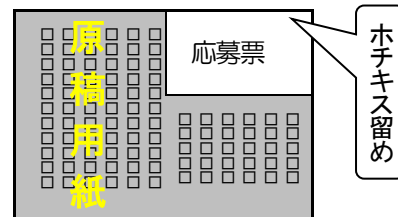
- 本人の直筆であること。コピーは不可。
- 小学校については字数の確認のため、「県文集ともだち」の原稿用紙を印刷したものか、市販の400字詰め原稿用紙を使用すること。
- 中学校以上は字数の多い作品を読むため、市販※の原稿用紙を使用する。
※コピーの黒線の原稿用紙は読みづらいため、B4版を推奨する。

イ 部門

- 「自由読書」の部と「課題読書」の部の2種類がある。マンガは学習マンガも不可。

ウ 応募票

- すべての項目に記入し、作品の右肩にホチキスで留めること。
- 学校の郵便番号、担当者の氏名も必ず書くこと。
- 小学生の感想文は字数を応募票に記入する。
- 「自由読書」か「課題読書」か、確認して○で囲む。
- 本の値段・シリーズ名・ページ数まで忘れずに記入する。
※感想文の執筆に際し、参考にした資料の有無の記入が必要。有った場合は、必ず作品に添付する。
- 小・中学校は生年月日の記入は必要ない。高校・勤労青少年のみ記入。



エ 字数・誤字脱字等

- 小学校低学年……600字以上 800字以内
- 小学校高・高学年…800字以上 1200字以内
- 中学校・高校……1600字以上 2000字以内（原稿用紙4枚よりは5枚が望ましい）
- 最低字数に満たないものは、内容が良かったとしても審査対象外となる。
- 題名・学校名・氏名は字数に数えないが、生徒の作文指導上、題名・学校名・氏名も原稿用紙の中に記載する。（その行以降の行をカウントする）
- 文章の推敲不足、誤字脱字等、審査後の訂正は不可能。提出する前に、学級担任等が十分確認すること。